



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年7月26日

上場会社名 アイカ工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 小野 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 財務統括部長 (氏名) 森 要輔

TEL 052-533-3135

四半期報告書提出予定日 2018年8月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	42,703	16.6	4,358	8.8	4,570	8.7	2,643	9.7
2018年3月期第1四半期	36,619	8.5	4,004	14.6	4,203	17.2	2,409	14.5

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 1,382百万円 (46.8%) 2018年3月期第1四半期 2,599百万円 (316.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	40.49	40.47
2018年3月期第1四半期	36.90	36.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	185,139	130,645	65.4
2018年3月期	189,626	132,616	64.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 121,052百万円 2018年3月期 122,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		42.00		50.00	92.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		47.00		56.00	103.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	88,000	12.8	9,800	5.4	9,900	3.2	6,300	10.0	96.50
通期	185,000	13.0	20,800	8.9	21,000	7.1	13,400	11.7	205.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	67,590,664 株	2018年3月期	67,590,664 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	2,305,269 株	2018年3月期	2,304,868 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	65,285,532 株	2018年3月期1Q	65,286,720 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、堅調な輸出や設備投資に支えられ、企業業績や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しました。

また、アジア・オセアニア地域の経済は、為替の動向が懸念されるものの、中国やインドネシア等のアセアン地域において、内需の拡大に支えられ概ね堅調に推移しました。

国内建設市場においては、賃貸住宅の供給過剰感から借家や持家の着工が一服し、住宅着工は弱含みで推移しました。非住宅関連は、企業の設備投資やインバウンド効果による工場・倉庫、オフィス、ホテルの新築・改修需要を背景に着工面積の回復が見られました。

このような経営環境の下、当社グループは、中期経営計画「C&C2000」の方針に基づき、社会課題の解決に貢献する商品群の拡充、次世代を担う注力分野の育成、アジア・オセアニア地域における接着剤やメラミン化粧板の販売強化などを推進いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高42,703百万円（前年同期比16.6%増）、営業利益4,358百万円（同8.8%増）、経常利益4,570百万円（同8.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,643百万円（同9.7%増）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

(化成品セグメント)

接着剤系商品は、国内においては木工・家具向け汎用接着剤、施工用接着剤、合板用接着剤、集成材用接着剤、産業用フェノール樹脂が好調に推移し、売上を伸ばすことができました。また、海外においてもアジア・オセアニア地域における接着剤・産業用樹脂の需要を取り込むことができました結果、売上を伸ばすことができました。

建設樹脂系商品は、新築住宅向けの外装・内装仕上塗材「ジョリパット」が前年を下回ったものの、建築・土木用の補修・補強材や高耐久塗床材「アイカビュール」が好調に推移し、売上を伸ばすことができました。

非建設分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、繊維・紙加工用途のアクリル・コンパウンド製品が前年を上回り、国内太陽光市場の低迷や原材料価格高騰によりホットメルトやUV樹脂が前年を下回った一方、当第1四半期連結会計期間より連結業績に組み入れたエバモア・ケミカル・インダストリー社が寄与し、売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は24,446百万円（前年同期比28.2%増）となりました。営業利益（配賦不能営業費用控除前）は、原材料価格高騰の影響をうけたものの、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社ののれん償却減の影響もあり、1,696百万円（同9.9%増）となりました。

(建装建材セグメント)

メラミン化粧板は、国内においては高い意匠性と指紋などの汚れが目立ちにくい特性をもつメラミン化粧板「セルサス」などの高付加価値品や汎用的な単色メラミン化粧板がホテルや商業施設の新築・改修需要を取り込み、売上を伸ばすことができました。また、海外においては、ベトナムやマレーシアを中心に売上を伸ばすことができました。

ボード・フィルム類は、汎用的なポリエステル化粧合板や、加工品を拡充した粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」関連商品が好調で売上を伸ばすことができました。

メラミン不燃化粧材「セラル」は、キッチンパネル用途を中心に、教育施設や工場・倉庫、ホテルや商業施設の新築・改修需要を獲得するとともに、駅のトイレや医療福祉施設、商業施設などでは「セラル消臭タイプ」の採用が拡大し、売上を伸ばすことができました。

不燃建材は、アクリル樹脂系塗装けい酸カルシウム板「ルナライト・カラー」が工場・倉庫や教育施設、医療福祉施設の需要を取り込み、多機能建材「モイス」が内装壁や天井用として住宅だけではなく非住宅施設の用途も取り込むなど、アイカテック建材株式会社とのシナジー商品を中心に売上を伸ばすことができました。

カウンター・ポストフォーム商品は、人工大理石「コーリアン」製の幼児用手洗いカウンターが保育施設の新設需要を取り込み、売上を伸ばすことができました。

建具・インテリア建材は、メラミン化粧板の特性を活かした「メラフュージョンシリーズ」は好調でしたが、住宅着工件数減少の影響を受け前年を下回りました。

このような結果、売上高は18,256百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は3,269百万円（同5.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は125,291百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,908百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が3,823百万円、受取手形及び売掛金が1,407百万円減少したことによるものであります。固定資産は59,848百万円となり、前連結会計年度末に比べ421百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が451百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、185,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,487百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は47,015百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,564百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が332百万円、未払法人税等が1,895百万円減少したことによるものであります。固定負債は7,478百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、54,493百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,516百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は130,645百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,970百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2,643百万円及び剰余金の配当3,264百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は65.4%（前連結会計年度末は64.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、2018年4月26日公表の業績予想に変更ありません。今後の景気の動向によって第2四半期連結累計期間及び通期の業績見込みについては見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,521	45,697
受取手形及び売掛金	59,259	57,852
商品及び製品	8,550	9,469
仕掛品	1,046	1,076
原材料及び貯蔵品	6,404	6,203
その他	5,608	5,360
貸倒引当金	△189	△369
流動資産合計	130,200	125,291
固定資産		
有形固定資産	38,464	38,293
無形固定資産		
のれん	168	372
その他	2,686	2,622
無形固定資産合計	2,855	2,995
投資その他の資産		
その他	18,125	18,576
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	18,107	18,559
固定資産合計	59,426	59,848
資産合計	189,626	185,139
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,127	25,795
電子記録債務	6,058	6,159
短期借入金	4,052	3,768
未払法人税等	3,492	1,596
賞与引当金	1,763	2,364
その他	8,086	7,331
流動負債合計	49,579	47,015
固定負債		
長期借入金	777	658
退職給付に係る負債	1,406	1,383
その他	5,246	5,436
固定負債合計	7,430	7,478
負債合計	57,010	54,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,279	13,279
利益剰余金	93,756	93,135
自己株式	△2,011	△2,012
株主資本合計	114,917	114,294
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,402	5,527
繰延ヘッジ損益	△4	△3
為替換算調整勘定	2,187	991
退職給付に係る調整累計額	243	243
その他の包括利益累計額合計	7,828	6,758
新株予約権	36	36
非支配株主持分	9,833	9,556
純資産合計	132,616	130,645
負債純資産合計	189,626	185,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	36,619	42,703
売上原価	26,094	31,507
売上総利益	10,525	11,195
販売費及び一般管理費	6,521	6,837
営業利益	4,004	4,358
営業外収益		
受取利息	36	45
受取配当金	175	165
その他	162	198
営業外収益合計	374	409
営業外費用		
支払利息	10	29
売上割引	40	38
その他	124	128
営業外費用合計	174	196
経常利益	4,203	4,570
税金等調整前四半期純利益	4,203	4,570
法人税、住民税及び事業税	1,557	1,530
法人税等調整額	△59	122
法人税等合計	1,498	1,652
四半期純利益	2,705	2,918
非支配株主に帰属する四半期純利益	295	274
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,409	2,643

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	2,705	2,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	541	124
繰延ヘッジ損益	9	0
為替換算調整勘定	△663	△1,658
退職給付に係る調整額	10	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△2
その他の包括利益合計	△106	△1,535
四半期包括利益	2,599	1,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,432	1,572
非支配株主に係る四半期包括利益	166	△189

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,066	17,553	36,619	—	36,619
セグメント間の内部売上高又は 振替高	674	—	674	△674	—
計	19,740	17,553	37,293	△674	36,619
セグメント利益	1,543	3,103	4,647	△643	4,004

(注) 1 セグメント利益の調整額△643百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△643百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,446	18,256	42,703	—	42,703
セグメント間の内部売上高又は 振替高	687	—	687	△687	—
計	25,134	18,256	43,390	△687	42,703
セグメント利益	1,696	3,269	4,966	△607	4,358

(注) 1 セグメント利益の調整額△607百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△608百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2019年3月期第1四半期 決算短信補足資料

挑戦と創造

2018年7月26日

アイカ工業株式会社

1. 2019年3月期第1四半期 連結決算の概要

	2018/3期 第1四半期		2019/3期 第1四半期		
	実績	率	実績	率	伸率
売上高	36,619 百万円		42,703 百万円		16.6%
営業利益	4,004 百万円	10.9%	4,358 百万円	10.2%	8.8%
経常利益	4,203 百万円	11.5%	4,570 百万円	10.7%	8.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,409 百万円	6.6%	2,643 百万円	6.2%	9.7%
一株当たり四半期純利益	36.90 円	—	40.49 円	—	9.7%

売上 : 9期連続 増収
営業利益・経常利益 : 9期連続 増益
当期純利益 : 3期連続 増益

売上 : 6期連続 過去最高を更新
営業利益・経常利益 : 7期連続 過去最高を更新

2. 2019年3月期第1四半期 セグメント別業績

[単位:百万円]

	売上高			営業利益			
	2018/3期 第1四半期	2019/3期 第1四半期	差異	2018/3期 第1四半期	2019/3期 第1四半期	差異	
化粧品	19,066	24,446	5,380	1,543	1,696	152	金額
				7.8%	6.7%	▲ 1.1%	利益率
建装建材	17,553	18,256	702	3,103	3,269	165	金額
				17.7%	17.9%	0.2%	利益率
(配賦不能営業費用→)				▲ 643	▲ 607	▲ 35	金額
合計	36,619	42,703	6,083	4,004	4,358	354	金額
				10.9%	10.2%	▲ 0.7%	利益率

3. 化成品セグメント 商品群別売上実績

	2018/3期 第1四半期	2019/3期 第1四半期	伸び率
接 着 剤	123.1億円	139.8億円	13.6%
AAP ※	92.5億円	107.6億円	16.4%
建 設 樹 脂	21.5億円	21.8億円	1.5%
機 能 材 料	24.2億円	56.3億円	132.5%
そ の 他	21.7億円	26.4億円	21.4%
合 計	190.6億円	244.4億円	28.2%

※AAP:アイカ・アジア・パシフィック

4. 建装建材セグメント 商品群別売上実績

	2018／3期 第1四半期	2019／3期 第1四半期	伸び率
メラミン化粧板	35.8億円	39.5億円	10.1%
ボード等 フォーム	29.3億円	30.3億円	3.2%
セラール	41.3億円	42.0億円	1.7%
不燃建材	20.8億円	22.7億円	8.9%
カウンター フォーム	34.7億円	35.3億円	1.6%
建具材 インテリア	13.3億円	12.7億円	▲4.7%
合計	175.5億円	182.5億円	4.0%



C&C2000

CHALLENGE & CREATION

本資料に掲載されているアイカ工業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報からアイカ工業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみ全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。